

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	International Guidelines for Groin Hernia Management発表後の当科での鼠径ヘルニアにおける術式選択
倫理委員会承認番号	No.18-35
研究の対象	2014年1月から2018年8月までに当科で経験したPlug法後およびBi layer法後の再発再発鼠径ヘルニア症例
研究目的・方法	2018年に発表されたInternational Guidelines for Groin Hernia Management (以下、IG) では、鼠径ヘルニアの術式としてLichtenstein法、TAPP法、TEP法のみが推奨され、日本ヘルニア学会ガイドラインで推奨されているPlug法とBi layer法は、再発した際に修復が困難であることから行うべきでないと記載された。当科では2014年から、TAPP法を鼠径部ヘルニア手術の第一選択術式としたが、開腹既往などによる不適応症例に対してはPlug法を行ってきた。当科でTAPP法により修復した、Plug法後およびBi layer法後再発鼠径ヘルニア症例をカルテで振り返り、IGで危惧された修復の困難性についての検討を行うことで、今後の当科での術式選択、特にPlug法選択の是非について考察する。
研究に用いる試料・情報の種類	手術動画
外部への試料・情報の提供	なし
個人情報の取り扱い	使用した情報から氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ()
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 外科 研究責任者：田崎 達也 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	